

# 清流 ニュース

発行所  
八王子市子安町 1-22-25  
清流寺  
清流ニュース編集室  
電話 (042) 646-0287 (代)  
FAX (042) 644-1164  
http://seiryuji.jp/org/

平成二十五年 度 総 祈 願  
日序上人御十七回忌報恩御奉公成就  
教化必成 教務員増加 報恩御有志目標達成 完納成就  
羽村別院 改修 成就 之御願  
佛立菩薩増加 助行運動推進  
役中後継者養成 法灯相続促進

## 十二月の御総講日

- 一日 十時 御修行日
- 七日 十時 バースデー総講  
併 日序上人報恩祈念
- 十三日 十時 高祖御命日
- 十七日 十時 開導御命日
- 廿五日 十時 門祖御命日  
併 御本尊御会式
- 十二月 十時 於 清流寺  
高祖御逮夜
- 十六日 十時 開導御逮夜
- 廿四日 十時 門祖御逮夜  
併 歡尊御命日
- 於 羽村別院
- 会議
- 一日 御総講後役中会議
- 十四日 午後三時 事務局参事会

## 新弘通年度 佛立開花運動第二年度 日序上人御十七回忌ご正當

門祖聖人五五〇御遠諱報恩ご奉公が円成し、引き続き宗門は「佛立開導日扇聖人ご生誕二百年慶讃佛立開花運動」へと移行し、展開されています。

佛立開花運動は、「教化の花」「正宗徒増加の花」「役中後継者養成の花」「オリジナル誓願の花」と四つの開花運動です。

すでに具体的な方針は宗門から発表され、当山としてもその路線にそってご奉公させていただきます。

また当山は、日序上人御十七回忌のご正當の年でもあります。先住への報恩の誠を尽すご奉公が大事です。明年一月には具体案も提示されますので、この年末から

新年に向かつてのご奉公に邁進いたしましょう。  
また一年のしめくりのご奉公も入念にさせていただきます。

### 第四世講有日教上人御墓前式 平成廿六年一月九日(木)

ありがとうございます。

さて、新年最初の団参として日教上人御墓前式が開催されます。本年は第五支庁・開導聖人ご生誕二〇〇年慶讃佛立開花運動推進大会も同時開催となりますので当山としても各教区二名目標全体で三十名の団参を計画しております。  
一、日時 平成廿六年一月九日(木) 午前十一時〜午後三時

### 二、式会場

第四世講有日教上人御墓前式  
本所 清雄寺  
開導聖人ご生誕二〇〇年  
慶讃推進大会  
墨田リバーサイドホール

### 【当日の予定】

清流寺集合 午前七時四十五分  
出発 午前八時〇〇分  
清雄寺到着 午前十一時〇〇分  
リバーサイド 午後一時〇〇分  
清流寺帰山 午後四時頃  
利用交通機関清流寺バス及び電車バスなどで現地直行(含む)  
申し込みは別紙記入後平成廿五年十二月二十五日(水)迄に渉外部へ提出して下さい。

### 本山御初灯明料の奉納 志を篤く奉納しよう

一月七日迄に奉納願います  
本山御初灯明料は、宗門の三大奉納金の中でも一番大きな力をもつもので、宗門運営

の資となるものです。殊に一年のお初を本山に奉納させていただくことは、一年間の「財のお計らい」の基でもありますから、今からしっかりと心掛けて志を篤く奉納させていただきますよう。  
また、当山の初灯明料は一月末日が切です。

### 平成廿六年度 寒参詣

一月六日〜二月四日  
寒供養の申し込みは早めに！  
一月六日より平成廿六年度の寒参詣が始まります。

例年のお参詣も実施されますのでなるべく早めに申し込んで下さい。

### 年末年始の行事

十二月廿五日 御本尊御会式  
日頃格護されている御本尊を年に一度奉安して法味供養をさせていただきます行事です。  
十二月三十一日 除夜法要  
第一座 十九時  
第二座 廿三時三十分  
一年間の御礼をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

### 平成廿六年度 成人式

一月三日 初総講で  
一月六日より寒参詣開始  
一月三日 新年初総講  
午前十時より 併成人式  
一月六日より寒参詣開始

### 第一座 廿四時三十分

第二座 午前七時より  
※第一座は除夜法要に引き続き行います。  
羽村別院は午後一時より初御看経  
一月三日 新年初総講  
午前十時より 併成人式  
一月六日より寒参詣開始



## 本月の御妙判 心の財をつめ

蔵の財よりも身の財すくれたり  
身の財よりも心の財第一なり。  
此御文を御覧あらんよりは心の財をつませ給ふべし。

(崇峻天皇事 縮1655)  
蔵の財というのは金銀財宝等でありませぬ。身の財というのは才能技術等でありませぬ。

心の財というのは正しい信仰の事でありませぬ。

「人間万事金ノ世ノ中」と申しますから蔵の財、つまりお金のある者は、世間の人から羨ましがられる訳ですが、その富によって真の幸福を得た者はいませぬ。

### 智度論には

「得ルトキハ苦多シ。密ヲ刀ニ塗ルニ祇ル者甜キヲ貪リ舌ヲ傷ルコトヲ知ラズ。後ニ大イナル苦ヲ受クルガ如シ」。

と説かれてあります。

次に才能とか技術というものは、人の身についた宝であつて、たとえ他人がこれを奪おうとしても、それは出来ません。併し、金銀財宝も才能、技芸も、若し心が正しくなければ、財あるが故に世を

乱し、才能があるが故に人を害するといふような事に用いられるので「タカラのモチグサレ」といふ事になるのである。

たゞ、心の正しい人のみが蔵の宝を生かし、身の宝を生かすことが出来るのであります。

お経文に  
「牛、水ヲ飲メバ乳トナリ、蛇、水ヲ呑メバ毒トナル。智者学ベバ菩提ヲ成ジ、愚者学ベバ生死ヲ成ズ」と説かれてあります。

智者とは道を知った人のことであり、愚者とは道を弁えぬ人のことでもあります。

「菩提ヲ成ズ」といふ事は、まことに悦びを増すということであり、

「生死ヲ成ズ」といふのは煩惱を増長せしめる事でありませぬ。

「仏教ハ何カ」といふ事をいちはん簡単に申せば、  
諸悪莫作 衆善奉行  
自淨其意 是諸仏教  
という「七仏通戒偈」がいちばんであります。

三毒強盛の凡夫ですから、欲で汚れているのがふつうですが、「自淨其意」つまり心を浄くするのが仏教だということになります。

唱ふればわが仏性のあらはれて 罪のきゆるは法の妙也  
と御教歌下されてあります。

何が宝かというのと、この御法様を持ち、日夜朝暮にお題目を唱える信心こそ第一の宝でなければなりません。  
願はくは御法にあへる思い出に 唱へ唱へて唱へしなむ